

事務事業名	芳賀郡市社会教育運営協議会参画事業				担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151	
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和30年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	1. 社会教育総務費			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・芳賀郡市社会教育運営協議会は芳賀郡市の社会教育の普及と振興に寄与することを目的とする。 ・構成員は以下のとおり ・芳賀郡市内の首長、議長、教育委員長、教育長、社会教育委員長、公運審委員長、生涯学習・社会教育主管課長、文化振興主管課長、社会体育主管課長、公民館長、青年の家所長、社会教育団体長、小中高校長の代表、幼児教育機関長の代表、学識経験者 ・事務局 芳賀教育事務所 ・経費 負担金支出のみ ・事業 青少年育成事業、成人団体育成事業、生涯学習・社会教育指導者研修事業、生涯学習・社会教育担当者研修等 						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 負担金の請求により、支払い事務を行う。 事業実績 合計55回2,021名 ・総括的会議6回76名 ・青少年育成事業3回79名 ・成人、団体育成事業8回945名 ・生涯学習、社会教育指導者研修事業18回609名 ・生涯学習、社会教育担当職員研修事業14回214名 ・各種団体との連携6回98名 26年度計画 25年度に同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
ア 負担金額	千円	242	242	242	243	243			
イ 研修等参加要請件数	件	60	52	59	55	60			
ウ									
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 芳賀郡市社会教育運営協議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
ア 芳賀郡内の加入市町数	市町	5	5	5	5	5			
イ									
ウ									
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 芳賀郡内の社会教育の振興と職員の資質の向上	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
ア 芳賀郡内の社会教育事業に参加した関係者の数	人	2,250	1,923	2,047	2,021	2,000			
イ									
ウ									
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 魅力的な社会教育の推進	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
ア 社会教育に関する知識及び理解が得られた関係者の数	人	2,250	1,923	2,047	2,021	2,000			
イ									
ウ									
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	242	242	242	243	0
			事業費計(A)	千円	242	242	242	243	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	40	40	40	40	0
			人件費計(B)	千円	171	170	168	163	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	413	412	410	406	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・昭和30年に芳賀郡市の社会教育の普及と振興に寄与することを目的として開始された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・都市化や核家族化が進み、昔ながらの地縁的な関係が薄れ、地域全体で物事に対処しようとする機運が弱まりつつある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芳賀郡内の社会教育の普及と振興に寄与するための参画事業である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芳賀郡内の関係者との意見・情報交換の場としても、本市の社会教育の充実と発展のために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 芳賀郡市の社会教育の普及と振興に寄与する事業である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 芳賀郡内の市町を対象とした社会教育の運営がなされている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 芳賀郡内の市町を一体とした社会教育の充実ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 芳賀郡内の市町の負担割合に応じた支出である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議や事業に参加する必要最小限の経費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 法令外負担金として決められたものである。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							